

大野北公民館

利 用 協 通 信

第 8 号 平成 22 年 8 月 20 日

大野北公民館利用サークル協議会 発行

相模原市中央区鹿沼台 1-10-20

大野北公民館内 電話 042-755-6601

今年も盛況!!うどん

食べ方教室 征矢道子

7月4日の日曜日、公民館まつりに料理部門では恒例のうどんを出店しました。もう何年も続いているので、チームワークもよく、それぞれの分担を難なくこなして成功のうちに終了することが出来ました。

毎回うどんの温めと汁作りは、男の料理教室の皆さんにお願いしていましたが、汁も毎回研究され、今回もおいしかったという声を多数頂きました。主婦の私たちが顔負けの熱心さで、頭が下がります。うどん作りの中心となっていたいただきました。お天気が心配されましたが、雨も降らず無事に終了出来たことは本当に良かったと思えました。



公民館まつりに参加して

家庭倫理の会 伊藤昭子

毎年バザーをさせて戴き感謝しております

す。朝のテント張りも勉強させて頂く事が出来ました。お天気が良くなりよかったです。太陽が暑すぎて汗だくで行いました。人々の出入りも賑やかで良かったと思えました。駐車場で演舞の人達もそれぞれ汗を流しながらも

すばらしいものでした。毎年



の楽しみの「うどん」も美味しく頂きました。3階の展示品は日頃のサークル活動の熱心さが伝わり、心が洗われる思いでした。フロアーに置いて下さるお茶には只有り難しく、何度も入れかえてくださる方に感謝申し上げます。

来年の公民館まつりを楽しみにしております。有難うございました。

文章サークルひびきの目論見

文章サークルひびき 小糸春子

公民館まつりに参加、活動発表をする機会を得たが、北公民館30年の歴史からすれば、参加するのが3回目と本当に新顔と云える。3階ロビー窓際が展示場所である。写真や絵などに較べると実に地味で目立たない。

「ハガキで便りを出そう!」と云うプランに基づき、ハガキ、筆記具、郵便番号簿も用意して、呼びかけのちらしも配った。

最近、ケータイ、パソコンの手軽さ、便利さに多くの人が嵌(はま)っている。年賀状も暑中見舞いも然りである。



さて、このひびきの目論見に応じてくれる

人が居るか心配であったが、若い親子連れや、キッズコーナーの子供達が興味を持って参加して下さいました。宛先住所不明が若干あり、

課題である。作者の了解を得て展示させて貰う。子供50枚のハガキを使い切って、サークルに豊かな達成感を残した。

公民館まつりへの提言

大野北歴史をたどる会 石井 寛

公民館まつりは、五万七千人の大野北地域にとつてどういう位置にあるのか。学習成果発表のこの事業、

「まつり」の名前
でいいのか。数あるサークル、この催しに参加したサークル数は。又学習成果を何かの形で地域に還元したサークルは。

部屋のこと、

美術部門のサークル展示、スペースで苦勞されたようです。講習室の休憩所、玄関は各サークルの交流の場とするなど、どうでしょうか。隣の旭町児童館などからギャラリートークなどしていただければ、更なるべく説明要員がいられたらとも思いました。いろいろなこと、みんなで話し合ってみたいと思います。



「公民館まつり」に参加して

ニュースウィング 三田村 純子

今年の公民館まつりは30回にふさわしく内容もさらに充実し、来場者数もまさに老若男女、巾広い層からの参加が顕著であったと思う。

6月30日、会場準備から表で立った作業は始まる。参加サークルから総勢百名近くが集まり、各部署に配置され、1〜3階と恵まれた広さ（それでも不足！）で、展示会場・催し物会場が造られていく。次の日、作品の搬入がされ、見事に展示、レイアウトされた部屋に生き生きと命が生まれる。

やがて本番、まつりは開幕する。金曜日、日曜日の設定の為、どうしても土・日に集中する。私たちニュースウィングは、土曜の午後『フォークダンス、フラダンス交流会』、もうフラダンスサークルとは20年も続けている。会場は溢れんばかりの人数で、うれしい悲鳴をあげる。最後の「フォークダンス体験」では、両手



に幼児を抱いた若い父親も、ちよつと話しが苦手な、はにかんだ若者も、次々と相手を変えてゆくミキサーダンスに興じてくれた。笑い声のはじける。私自身も心から楽しんだ。

ありがとう、すべての人の気持が一つになって「まつり」は盛り上がった。永永（えいえい）とこれまで築き上げて下さった多くの先輩に感謝をしたい。30回の重さは大きい…！と。
又いつもの心狭き私に戻る前にそんな気持を言葉にしておきたいと思う。

大勢の方との出会い、文化展

ゆうゆう押し花

K子

7月2日から4日まで会議室2で、文化展「粘土クラフト」、「籐工芸」、「押し花」の作品を展示しました。大勢の方に観て頂きました。自分の好みで作品の前でしばらく立ち止まっている方もいました。

天候にも恵まれて良かったと思いました。また来年の公民館まつりに大勢の方々にお会いしたいと思います。ありがとうございました。



第二の人生、充実した日々

布物語 一同

第30回公民館まつりおめでとうございます。回を重ねる毎にサークル会員の技術も上がり、お互いのコミュニケーションも深まり、楽しい活動をしています。

第二の人生を仲間と公民館とに支えられて充実した日々を過ごせる事を幸福（しあわせ）に感じて居ります。より一層、私達の公民館として益々のご発展を期待します。



「おおの北公民館まつり」に寄せて

パソあそ 浜崎宅輔

今年の公民館まつりは30周年の記念行事に当たること。当時社会に出て年頃の30歳の青年男女も今年は還暦を迎えたことになる。東京オリンピック、大阪万博を経て岩戸景気とも呼ばれたバブルの時代に各地方自治体のなかに公民事業が促進され公民館が設立されたわけであろう。然るに当時の公民館は行事（まつり）をやるにも手狭で、人手不足、資材不足、開催

場所も小学校の一室と校庭の一部を借りる始末で苦勞の連続だったそうである。

経済成長の著しい時代、街

は公共事業で沸き、電機産業、建設業、その関連企業、不動産等活気

著しく、公民館でのサークル活動はど

のようなものであったか。足を運んだ多くは専業主婦で一人、二人、三人と集い、和が生まれ、輪になり、育つて今日に至っているものと思われまふ。ある熱心なサークルの古きよき時代の写真展をこの「おおの北公民館」で鑑賞することがあるが、往時の風景に時を忘れ、懐かしさが蘇る。昨今新たに有名な大学も誘致され、学園都市としても、若者の街としても認知されてきているこの地区で「おおの北公民館」が果たす役割は更に増すものと思われまふ。私もサークル会員の一人として知識を高め幾ばくかの貢献が出来ればと思つて居ります。「おおの北公民館まつり」更なる発展を遂げますよう祈つてやみませぬ。



「へえーとわっはっは」記念の集いを終えて

次の世代のための九条の会 猪口敦子

公民館で活動するサークル・団体の活動の発表の場である公民館まつり、30回目という区切りにな、考えてみたいと企画した今年のつどいであった。

「なぜ、公民館がつくられたのか？」を考え、30

回に及ぶまつりの歩みやこれまでの公民館活動を体験した人から伝えてもらい、互いに知ること、これからの活動のあり方を考えるきっかけになれば…という希望と期待を広げて開催した。

戦後すぐ「公民館建設」

にむけて発表された「寺中構想」の朗読（劇団遊行座女優、東の宮美智子さんによる）は新鮮に届いたし、この公民館利用者3人によるトークは「へえー」の連発だった。しめくりの落語（真打ち三遊亭らん丈さんによる出前落語）では、大会議室は気持ちいい笑いに包まれていた。80人近い参加者は何かを感じて帰途についたと思う。

これからも、地域の人々をつなぐ公民館でありたいと感じたひとときだった。



今後の予定

- サークル懇談会 10月17日(土) 14:00~
- 年末大掃除 12月11日(土) 10:00~
- 総会 3月12日(土) 14:00~
- 第31回まつり実行委員会 3月26日(土)



はなやかな円舞 (メキシコ民族舞踊)



美しいハーモニー (女声コーラス秋桜)



籐工芸制作に挑戦! (籐工芸淵野辺サークル)



子どもたちで大賑わい (キッズコーナー)



完売! 焼きそば、(青少年指導員)



「いい手だねえー」(囲碁愛好会)



健康チェックで元気に! (北央医療生協)



ロマンチックな作品 (粘土クラフトメルヘン)



はじける 若さ (桜風エイサー琉球風車)



きりっとした新舞踊 (芸能のつどい)